

議題	意見・要望等
西東京市障害者基本計画及び第7期西東京市障害福祉計画・第3期西東京市障害児福祉計画策定支援業務委託業者の選定結果について（報告）	<p>・1次選定と2次選定の評価基準をお示しいただくと、より分かりやすい</p>
日中サービス支援型共同生活援助事業者事業実施状況について（報告）	<p>・西東京市から受託の地域生活支援事業の延べ数が、緊急・体験ともに少ない印象を受けます。想定される利用申し込み者がそもそも少なかったのか、申し込みをしたが受け入れできなかったのかなど、申し込みなどの実態を明確にした数値を知りたい。市内でもコロナが発生した施設などがあつたが、コロナの発生状況なども知りたい。</p> <p>・コロナ下の新規事業として、順調に滑り出している印象を受けます。コロナ対策等は丁寧な取り組みをされている印象を受けます。西東京市から受託の地域生活支援事業の延べ数が、緊急・体験ともに少ない印象を受けます。想定される利用申し込み者がそもそも少なかったのか、申し込みをしたが受け入れできなかったのかなど、申し込みなどの実態を明確にした数値を知りたい。市内でもコロナが発生した施設などがあつたが、コロナの発生状況なども知りたい。特に助言はありませんが、西東京市をはじめとした関係機関との連携をさらに推進されるとよいと思います。また、緊急や体験の場としての活用などを、市民や相談支援事業所などにさらに周知していただけるといいかと思ひます。</p> <p>・関係機関との連携を進めていただき、精神障害者や難病患者が利用できるとよい。常時医療的ケアが必要な方の利用継続ができるとよい。利用者の中に、一人暮らしを希望される方いらっしゃいますか。希望される場合は、どのような支援をされるのでしょうか。</p> <p>・コロナ禍にあつても工夫して活動されていることがよく分かりました。また、利用者の状態・希望に合わせて居室をカスタマイズされ、臨機応変に対応されており、素晴らしいと思ひます。新型コロナウイルス感染症への感染対策のために、難しいかもしれませんが、できる限りの地域住民との交流の機会を設けていただくなど、内部での交流に留まらず、地域に根差したグループホームとして活躍していただきたいと思ひます。事業報告では、具体的にどのような支援をしているのか、人材育成をどのように行っているかが見えづらかつたと思ひます。</p> <p>・施設内を見学させて頂いたことがありますが、様々な障害種別の方を対象に作りも配慮されており、大変参考になりました。事業報告では、コロナ禍において行事や過ごし方の工夫をされていることがよく分かりました。</p> <p>・受領した資料のみでは評価不能と言わざるを得ません。新たなサービスであり期待をしているものです。頂いた資料では実施内容が記されてはいますが、それはあらかじめ計画されていたことで、その結果の評価につながる情報がありませんでした。利用者の満足度調査などがあればよかつたのですが。広く市内にこういったサービスの存在をしっかりと知らしめて頂きたいと思ひます。当該法人の施設の利用者へはこういったサービスは周知されていると思ひますが、それ以外の市内在住の障がい者・家族への周知を積極的にお願ひします。また、利用者を増やす活動も是非お願ひします。新たに実施された本サービスの障がい者・その家族等への周知徹底が十分ではないように思ひます。周知徹底を事業者にまかせるだけではなく、行政として複数の手段や機会に繰り返し周知することが必要です。また、このサービスが適切に実施されているか、利用者の満足は得られているかというフォローアップも必要で、今後のサービスの質の向上に寄与する仕組みを導入することがよい。</p> <p>・定員18名に対して現員16名と、多くの利用があることは評価できると思ひます。コロナが収まったら、ぜひ地域との連携も積極的に行っていただきたいと思ひます。日中サービス支援型の利用対象者は、日中活動サービスの利用が難しい者との認識でしたが、報告では通所されている方ほとんどのような書かれ方をしてあります。日中活動がない者の割合や、具体的な過ごし方などの報告があると良いと思ひます。</p>

<p>障害福祉課ケースワーカー制の導入について</p>	<p>・障害福祉課ケースワーカー制度の導入により、保健師との役割分担等はどのようにになりますか。障害種別での分担でしょうか。保健師は困難事例や虐待事例の対応をされるのでしょうか。</p> <p>・ケースワーカー制導入にあたって、具体的な活動内容や状況を知りたい。可能な範囲でいいがケースワーカーの経歴や資格なども知りたい。また、困難事例とはどのような事例を想定し、どのように対応したのか事例でいいので知りたい。</p> <p>・ケースワーカー制の導入により、市民にとって分かりやすく、また実感として感じ取れる活動を望んでいます。</p> <p>・相談窓口の整備（量的・質的）をすることは大賛成です。相談を受ける人は、障がい者を取り巻く環境の理解、法制度の理解、具体的な市内の福祉サービスの理解、そして障がい者・その家族と寄り添うことができる（これはトレーニングでもある程度はできるようになります）などが必要です。担当する正職員の必要なスキルの洗い出し、そして職員一人一人をアセスメントし、現状と不足しているスキルを具体的にいつまでに、どうやって習得させるのかなどをしっかりと行う必要があります。また、常に窓口利用者への満足度調査を定常化して、一定のレベルにいかないと担当を変えるというようなことも検討するべきではないかと思えます。</p> <p>現在利用できるサービスが不足していることはあまりなく、それよりも相談機能が適切に機能しておらず、相談者の課題・問題が解決されにくいように思います。需要と供給をつなぐ相談者の役割は大きく、適正な相談人材を増やす必要があろうかと思えます。</p> <p>・ケースワーカー制を導入することで、切れ目のない相談体制が整備されたのはとても良いことだと思います。一方で、これまで支援者がつなぎ先として利用していた「えぼっく」との住み分けや、支援内容の違い等が伝わるような情報提供があると良いと思います。</p>
<p>第8期西東京市地域自立支援協議会会長・副会長の互選について</p>	<p>○会長 事務局に一任する：16</p> <p>○副会長 事務局に一任する：16</p>